

# 「幸せ」という呪いを粉碎せよ

岡本太郎の遺した『歡喜』に満ちた超行動哲学と絶対感の羅針盤

PHOENIX愛知 Eラーニング

# 「幸せ」という名の不都合な呪縛

「安定した仕事、円満な家庭、  
こんなもんが本当に幸せだと思いますか？  
鈍い人間だけが幸せになれるんだから」  
—— 岡本太郎

世間が規定した枠組みに疑問を持たずに適応できる人間だけが、そのぬるま湯を「幸せ」と錯覚する。息苦しさは、本当の自分を求めている生存のシグナル。



# 2つのパラダイム：安息の「幸せ」か、爆発の「歓喜」か

	幸せ	歓喜
目標	現状維持と安全地帯の確保	命が激しく火花を散らすこと
評価	他人が定義した「こうあるべき」	内側から燃え上がる圧倒的な充足感
状態	生命力をすり減らす「ぬるま湯」	絶望や困難と真っ向から対決する「爆発」

▶ 動画を見る：偽りの幸せからの脱却

# STEP 1: 準備も才能も不要。「無条件の行動」

一般的な誤解: 『情熱があるから行動が生まれる』

$$A = f(P, C)$$

(行動  $A$  は情熱  $P$  と条件  $C$  に依存する)



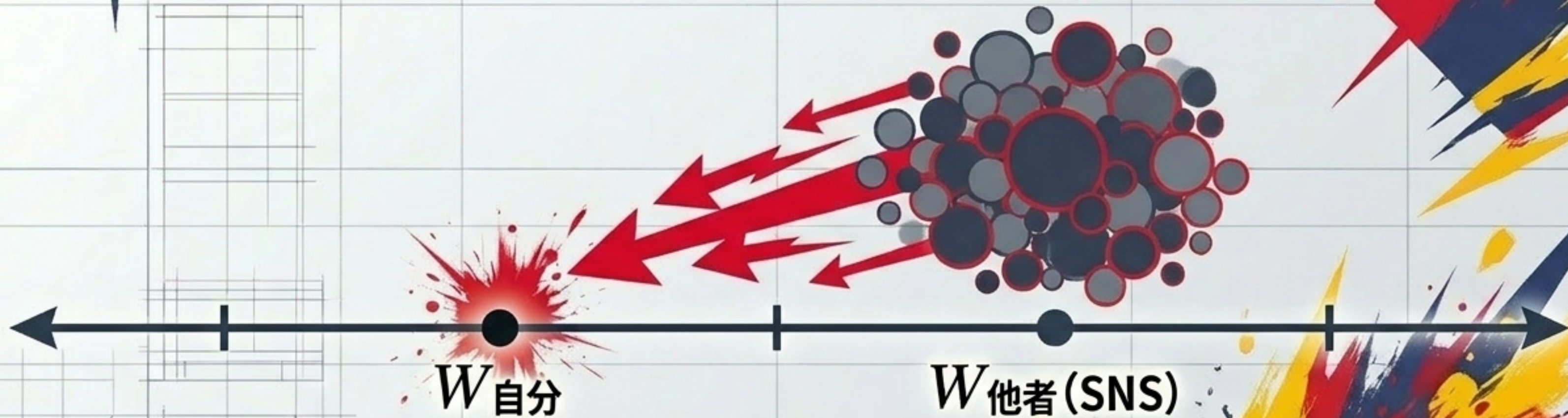
情熱は行動の"後"に生まれる摩擦熱である。  
時間が経過するほど、脳は「やらない理由」を無限に生成する。

# 行動エネルギーの最大化モデル



## STEP 2: 「相対感」という底なし沼からの脱出

$$V_{\text{相対}} = W_{\text{自分}} - \frac{1}{n} \sum_i W_{\text{他者}_i}$$



SNSのタイムラインに溢れる「優秀な他人」。他者という座標軸で自分の位置を測る限り、上には上が現れ、いつかは必ず自己喪失に陥る。数学的に見ても維持は「不可能」。

# 「絶対感」の幾何学的覚醒


$$V_{\text{絶対}} = |W_{\text{自分}}| \equiv \text{固有の存在確率}$$

▶ 動画を見る：絶対感の作り方

## 1. ちっぽけなプライドの放棄

自己保身のプライドを  
ドブに捨てる。

## 2. 比較の土俵からの完全退場

社会の評価システムの  
外側へ自分を投げ出す。

## 3. 剥き出しの魅力の覚醒

良い悪いの評価を下さず、  
ありのままを無条件に  
肯定する。

# STEP 3:

## 創造的変革のための「戦略的孤独」



▶ 動画を見る：孤独という名の聖なるプロセス

群れの中に本当の個性は宿らない。  
理解されたいという甘ったれた気持ちを叩き潰す。

### 【戦略的孤独】

寂しさに打ちひしがれることではない。  
古い自分を破壊し、新しい自分を創造するための「試練の部屋」。

# 総括：近代合理主義の檻をこじ開ける



人類の進歩と調和

1970年大阪万博。お行儀の良い「進歩と調和」のど真ん中に突き立てられた、非合理で混沌とした生命のエネルギー。

**安全地帯から一步踏み出し、絶望的な状況と真っ向から対決したときのみ、内側から生のエネルギーが湧き上がる。これこそが『歡喜』の正体である。**

# 剥き出しの命を、猛烈に爆発させよ！

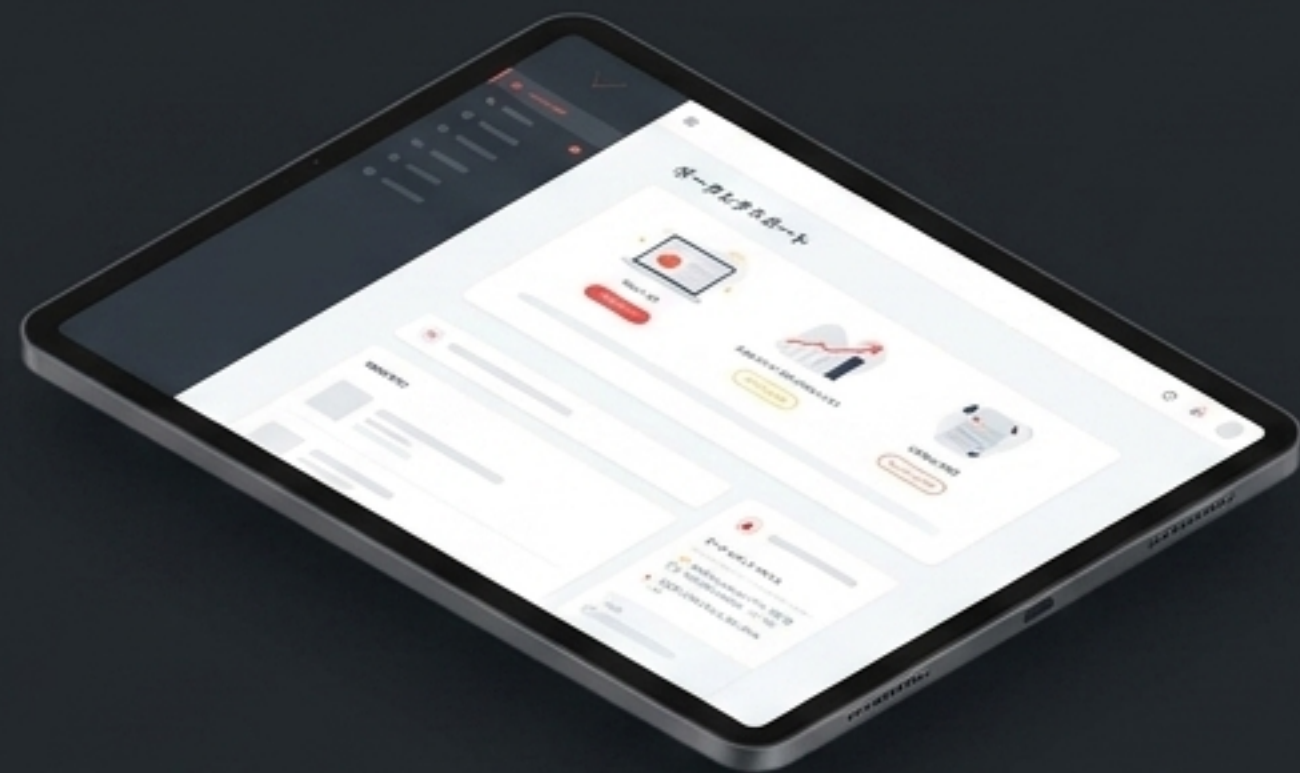
「自分の人生という、たった一度きりの壮大なキャンバスに、他人の顔色を伺った薄汚い灰色を塗るな！」

「心が『面白そうだ！』と叫んだその瞬間に、何も持たずに裸のまま飛び込め。」

▶ 動画を見る：広報担当アスカからの最終メッセージ

# PHOENIX愛知 Eラーニングポータル

古い自分を焼き尽くし、次の次元へ進むための  
実践的カリキュラム。



- バドミントン指導の最前線（認知コストと「やりたくない事」）
- 体験レッスン・無料メニュー
- [CONTACT] TEL. 080-6910-0479

Eラーニングシステムにログイン

